

株式会社 三越 2008年8月上報告

1. 店別状況

(千円) (%)

店名	売上高※1	参考前年比※2
全店合計	48,004,465	96.9
日本橋	17,007,954	94.8
新宿アルコット	1,535,183	101.3
銀座	3,595,023	101.4
池袋	1,627,302	98.7
千葉	1,808,945	100.9
仙台	2,754,875	97.8
札幌	2,880,829	96.0
名古屋栄(ラシック含)	5,917,602	96.7
星ヶ丘	1,476,635	101.4
新潟	1,388,940	101.4
広島	1,139,288	98.9
高松	1,655,765	96.4
松山	1,424,571	93.3
福岡	3,070,983	97.4
鹿児島	720,569	90.6

※1 テナント売上高を含みます。

※2 2008年5月より、前年の売上実績を100として比較しています。

2. 商品分類別売上高

(%)

	売上高※1	参考前年比※2
合計	48,004,465	96.9
衣料品		
紳士服・洋品	1,984,862	91.3
婦人服・洋品	9,250,509	87.3
子供服・洋品	426,725	107.6
その他衣料品	1,450,036	94.4
衣料品小計	13,112,132	89.2
身の回り品	6,331,278	88.1
家庭用品		
家具	794,287	80.9
電器	114,713	58.6
その他家庭用品	1,412,428	86.9
家庭用品小計	2,321,428	82.8
食料品	12,523,132	101.2
食堂・喫茶	1,135,096	93.9
雑貨	8,864,584	100.0
サービス	146,154	76.9
その他	1,010,882	86.3
テナント売上	2,559,787	242.4

3. 商況概況

〈8月商況〉

- 8月は、前半は連日厳しい暑さが続いたが、後半は一転して気温が低下し雨が降る日も多かった。衣料品では夏物のセール品や羽織り物など秋まで着られる端境期商品がよく動き、雑貨では水着やUV関連商品などシーズンMDが引き続き好調だった。食品は婦省土産中心に好調で美術・宝飾部門は堅調に推移した。終盤は「大創業祭」が好評で全体を押し上げたものの天候不順が響いたほか、法人外商・通信販売など事業部門が伸び悩み、全店合計の売上前年比は96.9%となった。5店舗(新宿アルコット店、銀座店、千葉店、星ヶ丘店、新潟店)が前年を上回った。
 - 日本橋本店は、婦人服では夏物セールや羽織り物など秋まで着られる端境期商品の需要が高い。紳士服では、甚平やTシャツなどシーズンMDを中心にカジュアルやスポーツは堅調に推移したが、重衣料などビジネスの動きが鈍い。婦省土産で賑わった食品部門や美術・宝飾部門は堅調で、「大創業祭」も好調に推移したが、事業部門が前年の大口受注などの反動で落ち込み、売上前年比は94.8%となった。
 - 銀座店では、水着などシーズンMDが引き続き好調だったほか、宝飾品や改装前の売り出しセール開催の婦人靴が伸長した。毎年恒例の「スヌービー in GINZA」も10周年記念グッズを中心に牽引し、「大創業祭」も各施策が奏功した。改装工事に伴う売場閉鎖の影響もあったものの売上前年比は101.4%となった。予算も達成し計画通りに推移している。
 - 名古屋栄店は、衣料品では紳士服・婦人服ともに伸び悩んだが、子供服が好調だった。そのほか食品や特選部門も堅調に推移したが、集中豪雨の影響で29日(金)に休業したことも響き、売上前年比は96.7%となった。
- 〈その他〉
- ご愛顧の感謝を込めて「三越創業335周年大創業祭」を8月下旬から9月下旬にかけて各店にて順次開催。第一弾は「感謝セール」と題してお楽しみ袋やお買い得商品などを多数ご用意。第二弾は三越限定販売商品を中心に、三越が提案するこの秋のスタイルを展開していく。

2008年3月より、報告する売上高にテナント売上を加えて、同じ基準で比較して前年比としています。
三越各店でテナントも含めた店舗の全てのフロアでお客様がお買物される金額をお店の販売額と捉えるためであると同時に、統計の継続性を保つためです。

本件に関するお問合せ先は
 (株)三越伊勢丹ホールディングス 管理本部総務部コーポレートコミュニケーショングループ
 TEL03-5843-6041 FAX03-5843-6040
 (株)三越 総務室 広報担当
 TEL03-3274-8007 FAX03-3241-5298